

# スポーツⅡF

## スポーツにおける体罰

阿部 佑樹  
細谷 将貴  
山田 晃大

体罰の事例 ・ 12歳の子ども力士自殺・桜宮高校体罰男子生徒自殺・水戸五中男子生徒死亡・水戸五中事件・岐阜県立中津商業高等学校女子部員自殺・おかやま山陽高等学校の体罰・静岡県立浜松商業高等学校の体罰・山陽高等学校の体罰

文部科学省調査結果 約7割が中高で行われる内、4割が部活動中

NHKによる調査結果 高校の全国大会に出場した150校にアンケートを実施。そのうち40%近くの学校が体罰あり。理由・指導のため63%・士気を高めるため32%

なぜ体罰をしてしまうのか

学校教育法第11条 「校長及び教員は、教育上必要があると認めるとき」「児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる」「ただし、体罰を加えることはできない」

暴力禁止を絶対としている競技団体 卓球 ・ 剣道 ・ フェンシング ・ 高校野球など他にも全部で15団体ある・・・15団体しかない。

高校野球の話。日本高等学校野球連盟（高野連）では高校野球での暴力は学校だけには任せない。連盟が全ての報告を求めて調査する。暴力→厳しく処分し公表する。報告が遅れる→そのことに対しても処分。

学校で体罰が容認されているのは韓国とシンガポール、アメリカ南部の一部地域などです。

それらの国でも体罰には厳格なルールがあります。シンガポールでは体罰の必要がある時、そのための委員会を立ち上げ、校長の権限で行います。ルールに基づき、研修を受けた人がみんなの前でムチで叩きます。受ける側は腰にサポーターを付けるため、痛いというよりも音が大きくて恥ずかしいのです。叩く回数は1～6回程度、男子のみと決まっているそうです。子どもたちが教師の予想を超えて成長するのは、体罰を行った時ではなく、本人の自己コントロールとチームみんなで共同できたとき

体罰について、「駄目なものは駄目で、論理なんていらぬ。絶対服従の中で行われ、一番ひきょうだ」と体罰撲滅を訴えた。

現在の指導者はいろいろ難しい環境にあると思う。体罰はもちろん許されることではありませんが、かと言って言葉の暴力も許されるべきではない。・どちらにしても必要なことは愛ある指導だと思います。

愛ある指導は受ける生徒も保護者も理解してくれます。

そのような指導者が増えてくれることを期待したい